

平成27年度前期 技能検定受検のご案内

国家試験であります「平成27年度(前期)技能検定」が、次のとおり実施されます。

受験を希望される方は、組合事務局までご連絡ください。技能検定案内と受検申請用紙を送付いたします。

平成27年4月6日
(月)～4月17日(金)(組合受付は4月15日(水))

《受検申請受付期間》
《検定職種》
内装仕上げ施工(アラスチック系床仕上げ)

平成27年度 通常総会開催のお知らせ!

開催日時
平成27年5月29日(金)
16時00分

開催場所
広島市
リーガロイヤルホテル広島

工事作業(1・2級)
内装仕上げ施工(木質系床仕上げ工事作業)
(1・2級)
表装(壁装作業)
(1・2級)
内装仕上げ施工(カーペット系床仕上げ工事作業)
(1・2級)
表装(壁装作業)
(1・2級)

《学科試験》
①内装仕上げ施工(アラスチック系・木質系・カーペット系床仕上げ工事作業)
(1・2級)
平成27年8月30日(日)



春夏秋冬の意味は何だろうと

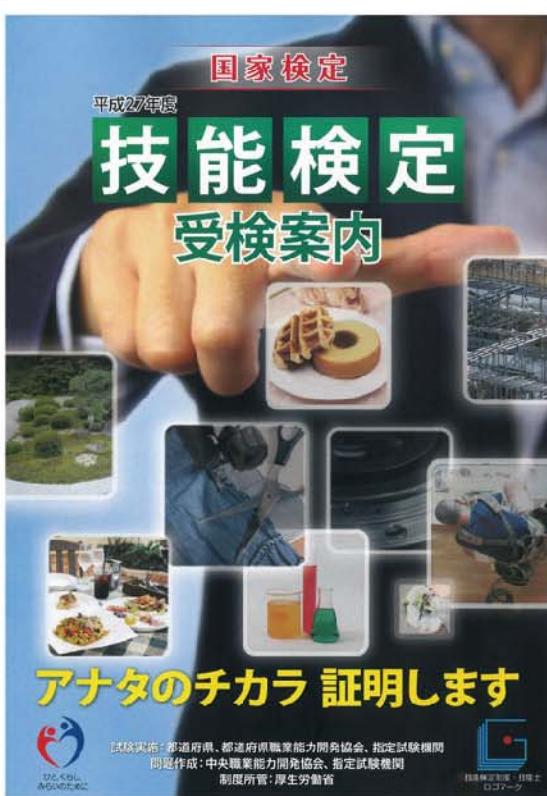
考えてみると、日本の風土文化であると思います。20世紀はこの風土がどうにか守られてきましたが、21世紀に入つて気候変動による春夏秋冬のバランスが崩れています。人間の方はそれぞれ違います。この世に生を受けて20歳で成人として認められ40歳で男の厄年を経て60歳で還暦と云う節目を迎え、平均寿命年齢の80歳を目標に「過去・現在・未来」を現役でゴールのテープを切れたらと思うのは欲張りでしょうか。私はこのような想いをもつて人生を歩んでおりますが、生き方の理念に「3つのキーワード」を提唱しております。

業界人としての「過去・現在・未来」

組合顧問 小田一美

昭和42年にこの業界へご縁を頂き右も左もわからず突進しましたが10年の経験を積むことでようやくプロとして業界に受け入れて貰い「頭脳・技術・愛情」を理念として高度成長の恩恵を受けながら成長してきました。しかし日本経済も成熟期に入り順風満帆と酔いしれた処にバブル崩

セブトに環境事業を立ち上げ、仲間と「気力・知力・体力」をテーマに「省エネ対策・色彩復元対策」とバイオレメディエーション応用技術によるバイオクリーニス洗浄対策の技術をプロデュースしております。この技術が建築物の長寿化に寄与することを信じて自己の「身体の健康・心の健康・財布



実技試験

《受検手数料(各職種と日連絡)》

②表装(壁装作業)
平成27年9月6日(日)
(水)～9月8日(火)

学科試験
17,900円
3,100円

《受検資格》
二級～2年以上の実務経験のある者
一級～7年以上の実務経験のある者又は二级合格後2年以上の実務経験のある者

期間内の指定する日(後日連絡)

技能検定トライアルのお知らせ!!
技能検定試験に先駆けトライアルを実施します。
受講希望者には後日、詳細について連絡します。
実技トライアル: 6月<予定>
学科トライアル: 7月<予定>

「窓のおしゃれ」のプロになる!

窓装飾プランナー資格試験のご案内

Window Treatment Planner

窓装飾プランナー資格は、幅広い知識とスキル、センスをもとに最適な窓装飾を実現でき、お客様が安心して窓装飾を依頼できる能力を有していることの証しとして、一般社団法人日本インテリアファブリックス協会が創設した資格です。

実施概要

試験実施日: 2015年8月26日(水)、試験会場は11都市に!

◆2015年(平成27年)スケジュール

4月10日(金) 受験申込ガイド発行

6月1日(月) 受験申込受付開始
申込締切: 6月30日(火)

7月末日 受験票発送予定

8月26日(水) 試験日

10月末日 合格発表予定

試験会場都市

札幌・仙台・新潟・さいたま・東京・横浜・名古屋・大阪・神戸・広島・福岡

全国11都市で受験可能!



一般社団法人
日本インテリアファブリックス協会
<http://www.nif.or.jp/>

壊と云う津波に遭遇するとともに、経済は衰退期に入りました。そこで、現に活動できるよう夢の実現に向かつて挑戦する積もりです。

私は平成19年の日装連創立40周年記念行事実行委員の役割をしておりました。関係で、記念講演会の講師としてジャーナリストの櫻井よし

ましたが、この世に生を受けて20歳で成人として認められ40歳で男性の厄年を経て60歳で還暦と云う節目を迎え、平均寿命年齢の80歳を目標に「過去・現在・未来」を現役でゴールのテープを切れたらと思うのは欲張りでしょうか。私はこのような想いをもつて人生を歩んでおりますが、生き方の理念に「3つのキーワード」を提唱しております。

昨年、組合は創立50周年を迎えた先人の想いを受け継ぎ半世紀経った現在は盤石な体制が確立したと思われます。これから時代変化に対応するため思いつつ、若い次世代へ舵を切ることが未来に向かう一步であると念願するとともに組合だよりの春夏秋冬が継続することを切望しております。

◎F Works 代表者 福本 勉 住所 福島市日吉台1丁目9番13号 電話 084194318825 FAX 084194413387 ◎ミズワンド 代表者 清水 豊 住所 福島市木之庄町2丁目7番21号 電話 084191715282 FAX 084191715283 ◎リフォーム工房むつのぶ 代表者 六信承示 住所 安芸高田市美土里町横田4260-12 電話 082615410836 FAX 082615410860

★新会員の紹介
准組合員

会員の動向

○インテリアカウンセルクッド
・代表者 野田佳孝
・住所 東広島市西条町御園字6714-1
・電話 082142214424
・FAX 082142214424

○インハウスニシモト
・代表者 西本誠司
・住所 廿日市市上平良1212-13
・電話 082913012040
・FAX 082913012060

○トータルインテリア ヤマダ
・代表者 山田篤
・住所 呉市豊町大長4787
・電話 082316612156
・FAX 082316612345

○村上内装
・代表者 村上良一
・住所 広島市安佐北区落合南2丁目39-1
・電話 082184218775
・FAX 082184218775

○井上装飾
・代表者 井上勝雄
・住所 広島市東区戸坂数甲2丁目7-1
・電話 082122013783
・FAX 082122013783

日装連中国ブロック春季定例会開催

日装連中国ブロック会では、3月6日(金)午後1時30分から岡山市のホテルグランヴィア岡山で春季定例会が開催された。

安田顧問は出席された。

ブロック会は午後1時30分に開会し、若山会長(広島県組合理事長)の開会挨拶の後に、協議に入った。

協議事項1では、日装連西浦理事長から挨拶を兼ねて日装連並びに業界の情勢を報告していただい

た。

協議事項1では、日装連各委員会の活動報告は、総務委員会については小田委員(広島県組合)から、教育資格委員会について

は清水委員(鳥取県組合)から報告が行われた。

協議事項3の「標準見積書による発注(公共

組合から、①行政機関への働きかけとして、標準

積書の活用(作成)につい

て」では、提案者のしまね組合から、「(1)行政機関へ

の改定によって加入促進

により、事前に加入、脱退状況表を作成してお

り、その中でも大きく組

合員数が増加している広島県組合から、会員制度

の改定によって加入促進

により、事前に加入、脱退状況表を作成してお

り、その中でも大きく組

合員数が増加している広島県組合から、会員制度

の改定によって加入促進

により、事前に加入、脱退状況表を作成してお

り、その中でも大きく組

合員数が増加している広島県組合から、会員制度

の改定によって加入促進

により、事前に加入、脱退状況表を作成してお

り、その中でも大きく組

合員数が増加している広島県組合から、会員制度

告もあった。

(2)民間へは、元請、下請にかかわらず標準見積書で作成する。

標準見積書は、根拠を

持つて作成し、活用する

ことがポイントである旨

報告があった。

協議事項4の「標準見

積書への(法定福利費)計

上の各県対応の進捗状況

と対策について」では、山口県組合から提案説明の後、各組合における進捗状況について報告があつた。

協議事項5「各組合の組員加入脱退状況と組合の加入脱退状況では、各組合からの聞きと

事前に日装連へ連絡して

おり、(3)と(4)は当日の要望であったが、西浦理事長、安田顧問から説明回答をいたしました。

(1)単組で作成した標準見積書を日装連で研鑽明・回答をいたしました。

また、講師は副読本の作成も必要であるとの提

案があつた。

(3)広島県組合から改定された防炎業務講習会

のテキストは、日装連から講師として委嘱されて

いる講師には、経費は掛かっても改訂版を1冊は配布する必要があるので

かかる。また、防炎テキストの中には、登録表示者が届け出を必要とする変更事項において、「住居変更届出書を必要としない場合」で行政による住居表示等によって変更が生じた場合は、変更届の必要がないとなつていいが、

費用もブロックから出してほしいとの説明であつたが、中国ブロックは单組から案内することとした。

協議事項11の「各組合

する場合、何をどのくら

い話せばよいのか全くわ

かりませんでした。

* 住居表示等の変更届

について、西浦理事長から、防炎協会と協議す

るとの回答があつた。

協議事項10の「日装連

への質問要望事項につ

いて

いことであった。

* 住居表示等の変更届

について、西浦理事長から、防炎協会と協議す

るとの回答があつた。

協議事項10の「日装連

への質問要望事項につ

いて

いことであった。

協議事項10の「日装連

への質問要望事項につ

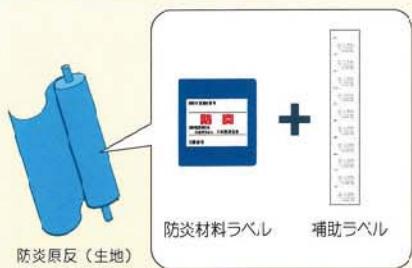
いて

業者のみなさまへ

平成27年4月より「補助ラベル」の縫い付けをお願い致します

消防庁より「防炎カーテンの性能確保等」の方策の一つとして創設されました。だれもが安心・安全の防炎カーテンを手にすることができるよう、ご理解いただき縫い付けをお願い致します。

補助ラベルの入手方法

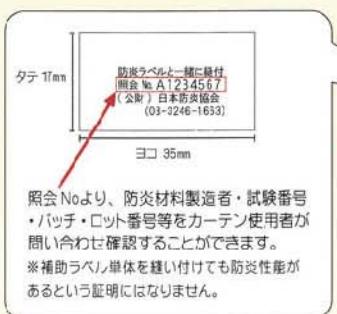


青地の「防炎材料ラベル(イ)・(ロ)・(ハ)」がついた防炎原反ロールや裁断された防炎生地には「補助ラベル」が添付されています。

補助ラベルが添付されていない場合は、購入元・支給元へお問い合わせください。
※平成27年4月1日生産分の防炎原反より補助ラベルが添付されますので、それ以前に生産された防炎原反については添付されていません。
このため、しばらくの間は補助ラベルが付いている防炎カーテンと付いていない防炎カーテンが販売されることとなります。

カーテンへの縫い付け方法

防炎物品ラベル(イ)・(ロ)・(ハ)をカーテンに縫い付ける際に、一枚ずつ切り離して一緒に縫い付けてください。



余った時は

補助ラベルが余った場合は、確実に廃棄してください。
添付されてきた原反(生地)以外への転用はできません。



足りない時は

補助ラベルが足りなくなった場合は、下記いずれかの方法で補助ラベルの支給を申請してください。

- ①(公財)日本防炎協会へ、不足したラベルの照会Noを申請し支給を依頼。
- ②あるいは、購入元・支給元へ依頼。

組合からのお願い!

壁装施工管理者の方には、防火壁装講習会テキスト「防火壁装の知識」の一部改訂についてご連絡しておりますが、防火壁装の施工管理について定めた建築基準法及び消防法の知識を熟知いただき壁装施工管理者としての責務を担っていただきますようお願いします。

壁装施工管理者の方には、防火壁装講習会テキスト「防火壁装の知識」の一部改訂についてご連絡しておりますが、防火壁装の施工管理について定めた建築基準法及び消防法の知識を熟知いただき壁装施工管理者としての責務を担っていただきますようお願いします。

これは、ラベル表示の方法に示しておりますように、防火壁装材料の1認定番号につき、1区分(1区画)ごとに2カ所以上表示することになります。ラベル交付申請書で、記入漏れの多い箇所は、
〈建築物の用途〉〈建築物の構造〉の規格

種類1区分ごとに2カ所の表示〉ラベルは、認定品の1ラベル交付申請書の書類を表示できます。検索に必要な情報は、基材(下地)・工法・品番(メーカー名)が必要となります。

1区分内に防火性能が異なる下地基材が併用されているものに、下地との組み合わせによって防火性能が異なる壁紙を張った場合は、区分全体を下級の防火性能の下地とみなして表示してください。

料など、防火壁装材と張り合わせて防火材料に認定されない下地基材が用いられている場合は、その区分内にラベル表示ができません。

壁装施工管理者の責任

防火壁装施工管理ラベルを表示できるのは、壁装施工団体協議会が指定する防火壁装講習会を受講し、壁装施工管理者として登録された方がラベルの交付申請を行なうことができます。

製造事業者等からカーテン材料の防炎原反(生地)を購入するとき、照会Noが記載された十枚綴りの「補助ラベル」が原反に添付されてくる。

裁断施工・製造者は、裁断したカーテン毎に従来の防炎ラベル(イ)・(ロ)・(ハ)ラベルにかぎる。とともに、「補助ラベル」を一枚づつ

つ切り離して一緒に縫い付ける。「補助ラベル」の縫い付けについては、①補助ラベル縫い付け例に示すように①防炎ラベルと補助ラベルを重ね

縫い付、②防炎ラベルと補助ラベルを並べ縫い付、③フック側での補助ラベル横縫い付など特に規定はないが、照会Noが判別できる

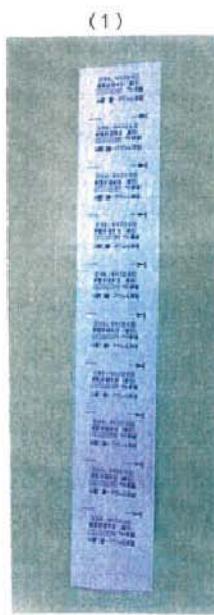
こと。もし補助ラベルが足りない場合は、防炎原反購入先もしくは(公財)日本防炎協会に添付されてきた補助ラベルの照会Noを申請して追加支給してもらうこと。

これらのお問い合わせは、先は、公益財団法人日本防炎協会大阪事務所(電話061694718844)、日本室内装飾事業協同組合連合会(電話03134919281)、広島県室内装飾事業協同組合(3112775)、広島市役所(919281)へお問い合わせください。

縫製業者等がカーテンに防炎ラベルを縫い付ける際に、防炎材料ラベルに添付してある「照会番号記載の補助ラベル」と一緒に縫い付けることで、カーテン使用者等が当該番号を日本防炎協会に照会して、防炎材料製造者、試験番号、バッチ・ロット番号等が確認できるというトレーサビリティを確保する。

「防炎カーテンの性能確保等」の実施方策!

補助ラベルの仕様及び補助ラベル縫い付け例

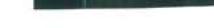


(1) 補助ラベル1冊10枚

*原反への添付代 最上部10mm
*1枚毎 上部 5mm
左右 各8mm



(2) 防炎ラベルと補助ラベルを重ね縫い付



(3) 防炎ラベルと補助ラベルを並べ縫い付

(4) フック側での補助ラベル横縫い付



この研修会は、平成26年度日装連内装士(日装連ブロック内岡山県・広島県)を対象とした第33次研修会と組合員を対象とした新春セミナーを兼ねて、平成27年1月9日(金)に広島市中区のANAクラウンプラザホテル広島で実施した。

研修会は、午後3時30分、組合の米山事務局長の司会で開会し、日装連中国ブロック会若山恵夫会長(広島県組合理事長)が挨拶をされた後、研修に入った。

研修テーマが「環境」であることから、「人と地球温暖化問題、木材と環境、住宅と省エネ、これからの住まい」についての研修内容であった。

研修会は、午後5時30分に終了しました。



2015/01/09 15:23

平成27年新春セミナーの開催